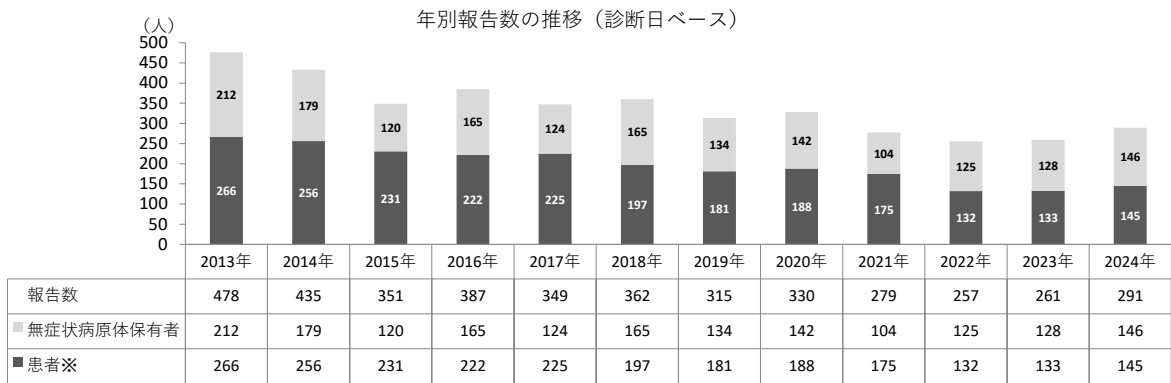


VI 參考資料

結核の発生動向【沖縄県：2024年第1週～第52週（2024年1月1日～2024年12月29日）】

1 年別報告数の推移

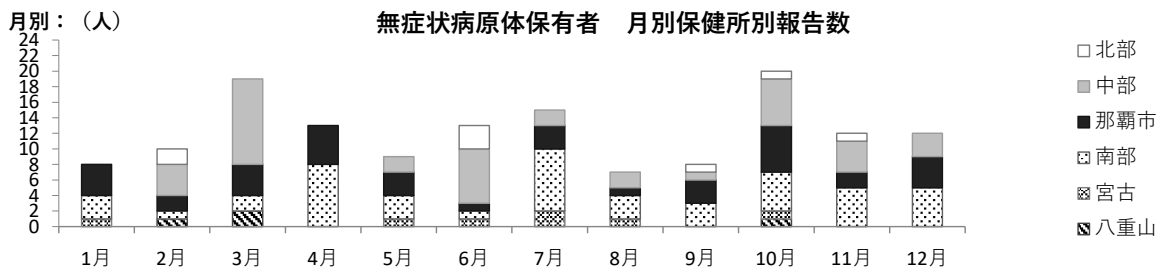
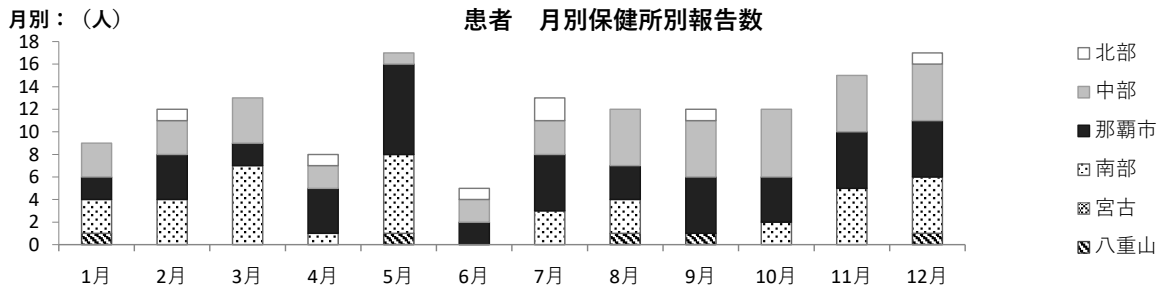


※患者：届出票類型の「患者（確定例）」、「疑似症患者」、「感染症死亡者の死体」、「感染症死亡疑い者の死体」の合計

2 類型別月別保健所別届出数（2024年）

類型		診断月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数
(内訳)	結核届出総数	北部		3		1		4	2		2	1	1	1	15
		中部	3	7	15	2	3	9	5	7	6	12	9	8	86
		那覇市	6	6	6	9	11	3	8	4	8	10	7	9	87
		南部	6	5	9	9	10	1	11	6	3	7	10	10	87
		宮古	1				1	1	2	1		1			7
		八重山	1	1	2		1			1	1	1		1	9
		沖縄県	17	22	32	21	26	18	28	19	20	32	27	29	291
	患者※	北部		1		1		1	2		1			1	7
		中部	3	3	4	2	1	2	3	5	5	6	5	5	44
		那覇市	2	4	2	4	8	2	5	3	5	4	5	5	49
		南部	3	4	7	1	7		3	3		2	5	5	40
		宮古													0
		八重山	1				1			1	1			1	5
		沖縄県	9	12	13	8	17	5	13	12	12	12	15	17	145
	無症状病原体等	北部		2				3			1	1	1		8
		中部		4	11		2	7	2	2	1	6	4	3	42
		那覇市	4	2	4	5	3	1	3	1	3	6	2	4	38
		南部	3	1	2	8	3	1	8	3	3	5	5	5	47
		宮古	1				1	1	2	1		1			7
		八重山		1	2							1			4
		沖縄県	8	10	19	13	9	13	15	7	8	20	12	12	146

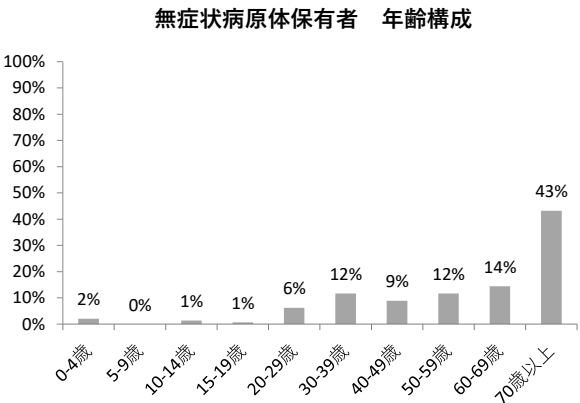
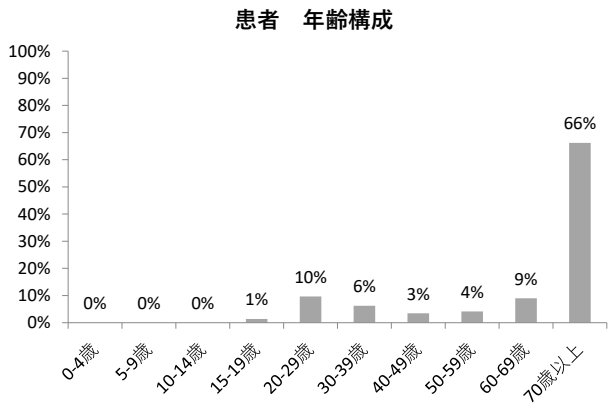
※患者：届出票類型の「患者（確定例）」、「疑似症患者」、「感染症死亡者の死体」、「感染症死亡疑い者の死体」の合計



3 年齢別保健所別届出数（2024年）

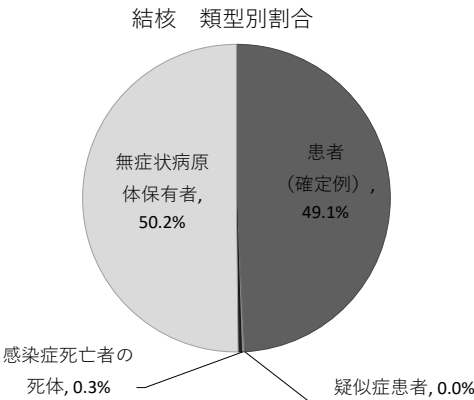
類型		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総数
患者※	北部					1			1		5	7
	中部				1	2	3	2	3	2	31	44
	那覇市				1	3	3		1	5	36	49
	南部					7	3	3	1	4	22	40
	宮古											0
	八重山					1				2	2	5
	計 (%)	0 0%	0 0%	0 0%	2 1%	14 10%	9 6%	5 3%	6 4%	13 9%	96 66%	145 100%
無症状病原体保有者	北部							1			7	8
	中部			2	1	4	7	4	4	6	14	42
	那覇市	1				3	5	5	4	9	11	38
	南部	1				2	4	2	8	5	25	47
	宮古								1	1	5	7
	八重山	1					1	1			1	4
	計 (%)	3 2%	0 0%	2 1%	1 1%	9 6%	17 12%	13 9%	17 12%	21 14%	63 43%	146 100%

※患者＝届出票類型の「患者（確定例）」、「疑似症患者」、「感染症死亡者の死体」、「感染症死亡疑い者の死体」の合計



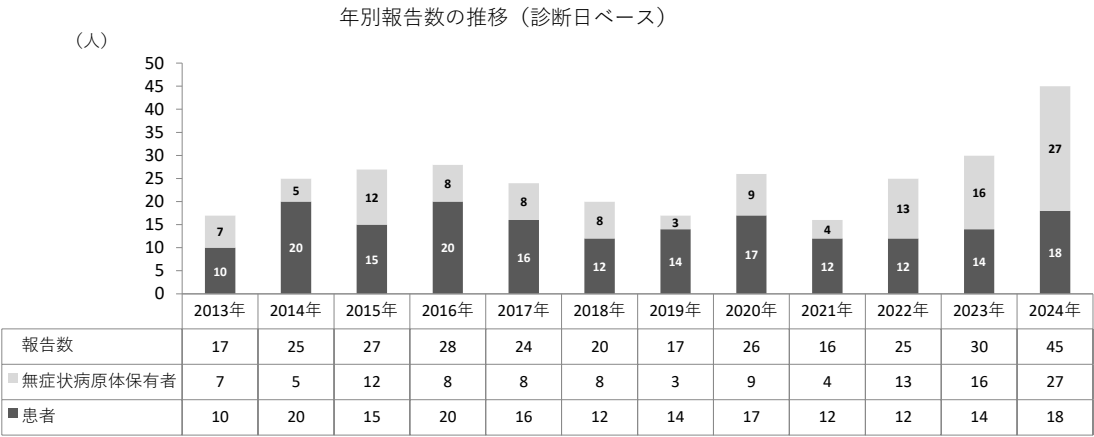
4 類型別保健所別報告数（2024年）

		患者	(内訳)				無症状 病原体 保有者	総計
			患者 (確定 例)	疑似症 患者	感染症 死亡者 の死体	感染症 死亡疑 いの死 体		
保 健 所 別	北部	7	7				8	15
	中部	44	42		1	1	42	86
	那覇市	49	49				38	87
	南部	40	40				47	87
	宮古	0					7	7
	八重山	5	5				4	9
沖 縄 県	男	93	91		1	1	80	173
	女	52	52				66	118
	総計	145	143	0	1	1	146	291



腸管出血性大腸菌感染症の発生動向【沖縄県：2024年第1週～第52週（2024年1月1日～2024年12月29日）】

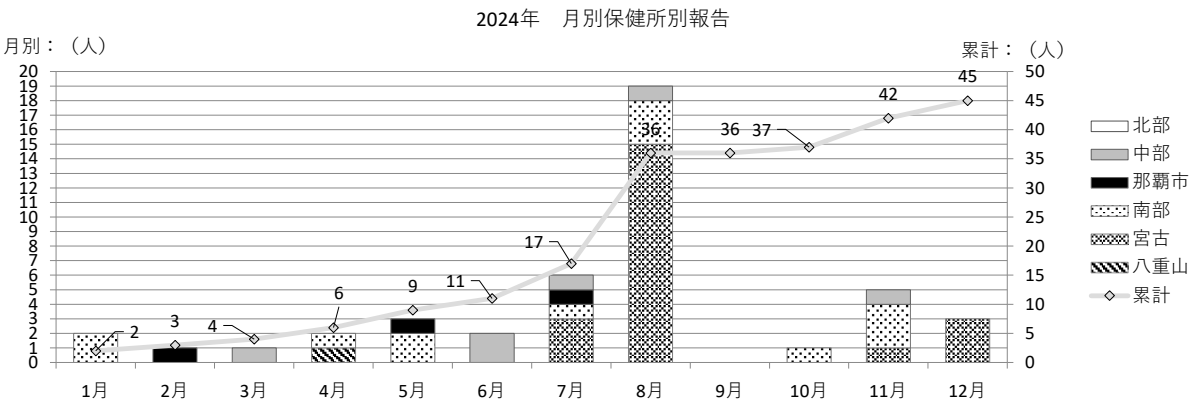
年別報告数の推移



2024年の発生動向

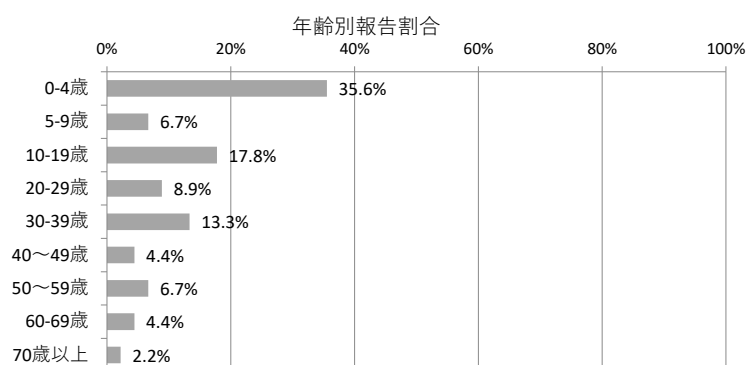
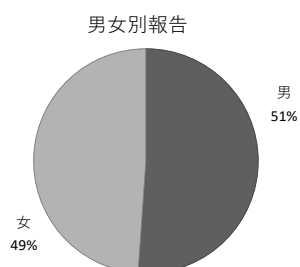
1 月別保健所別報告数

保健所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
北部													0
中部			1			2	1	1			1		6
那覇市		1			1		1						3
南部	2			1	2		1	3		1	3		13
宮古							3	15			1	3	22
八重山				1									1
合計	2	1	1	2	3	2	6	19	0	1	5	3	45
累計	2	3	4	6	9	11	17	36	36	37	42	45	



2 性別年齢別報告

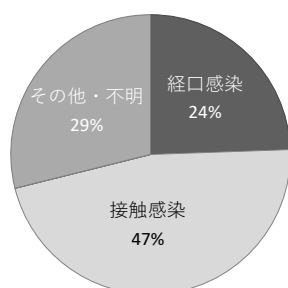
	0-4歳	5-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
男	8	2	6	3	3			1		23
女	8	1	2	1	3	2	3	1	1	22
合計	16	3	8	4	6	2	3	2	1	45
割合	35.6%	6.7%	17.8%	8.9%	13.3%	4.4%	6.7%	4.4%	2.2%	100.0%



3 感染経路

	0-4歳	5-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
経口感染	1	1	4	1	2		1	1		11
接触感染	15	1	1		3	1				21
経口・接触感染										0
動物からの感染										0
経口・動物感染										0
その他・不明		1	3	3	1	1	2	1	1	13
計	16	3	8	4	6	2	3	2	1	45

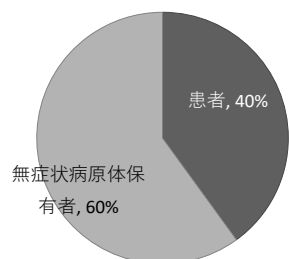
感染経路割合



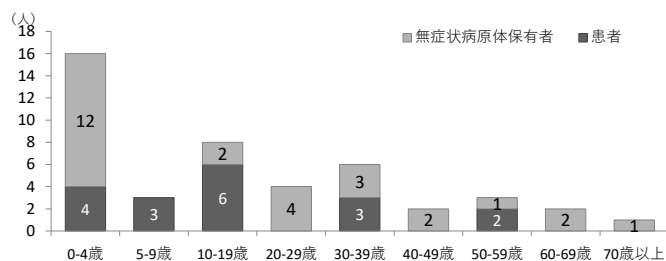
4 症状

	0-4歳	5-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
患者	4	3	6		3		2			18
無症状病原体保有者	12		2	4	3	2	1	2	1	27
合計	16	3	8	4	6	2	3	2	1	45

症状別割合



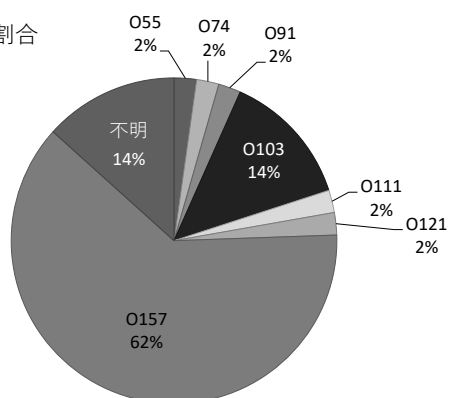
年齢別症状別報告数



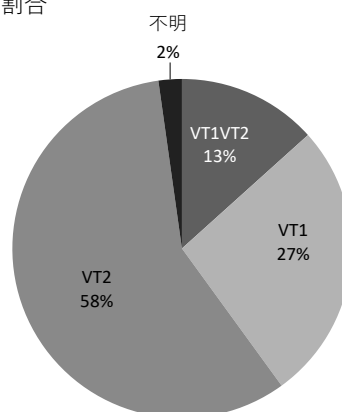
5 O血清群・ペロ毒素

	O55	O74	O91	O103	O111	O121	O157	不明	総計
VT1VT2			1				2	3	6
VT1	1	1		6	1	1		2	12
VT2							25	1	26
不明							1		1
総計	1	1	1	6	1	1	28	6	45

O血清群割合



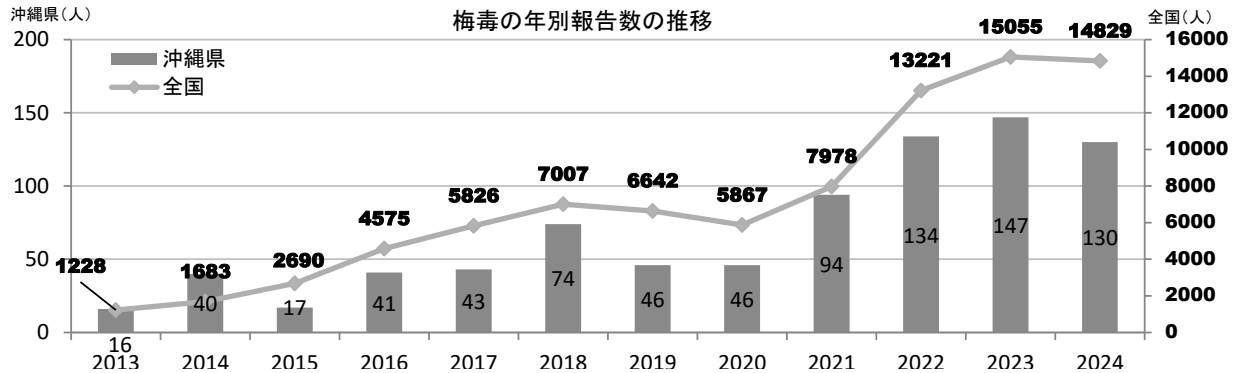
ペロ毒素型割合



梅毒の発生動向【沖縄県：2024第1週～第52週（2024年1月1日～2024年12月29日）】

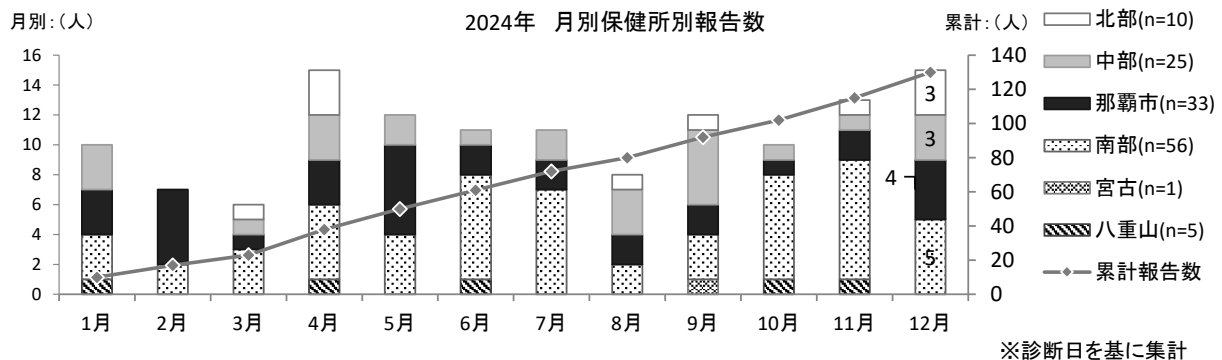
(1) 年別報告数の推移(沖縄県・全国)

- ・沖縄県における2024年の報告数は130人で、感染症法による全数報告が義務づけられた1999年以降、過去3番目に多い報告数となっています。
- ・全国における2024年の報告数は14,829人で、同様に1999年以降、過去2番目に多い報告数となっています。



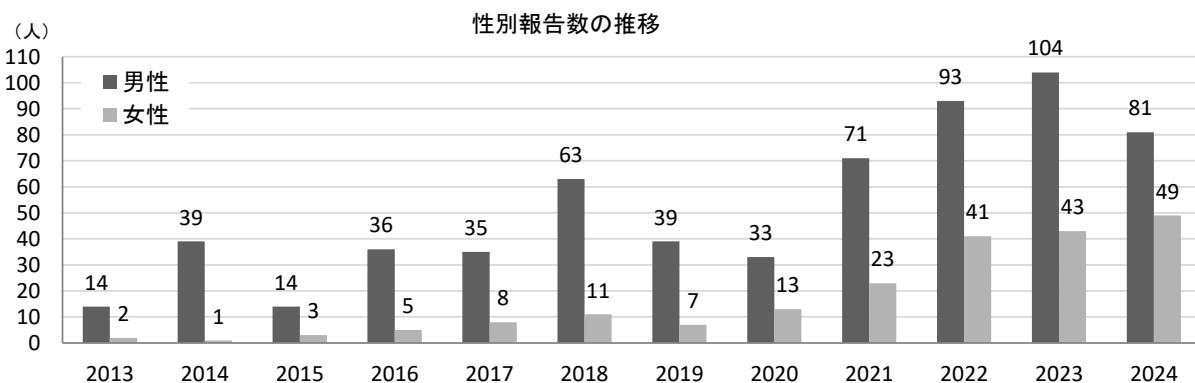
(2) 月別・保健所別報告数

2024年の保健所別報告数は、南部が56人と最も多く、次いで、那覇市が33人、中部が25人、北部が10人、八重山が5人、宮古が1人となっています。



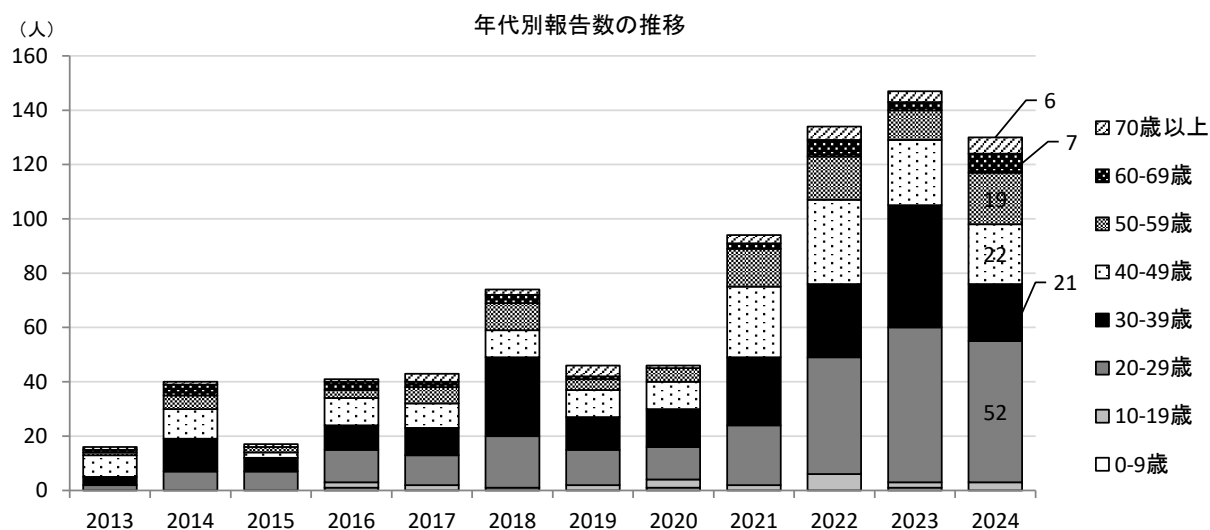
(3) 性別報告数の推移

- ・例年、男性の方が多く報告されています。
- ・2024年、男性の報告数は前年比0.8、女性の報告数は前年比1.1でした。



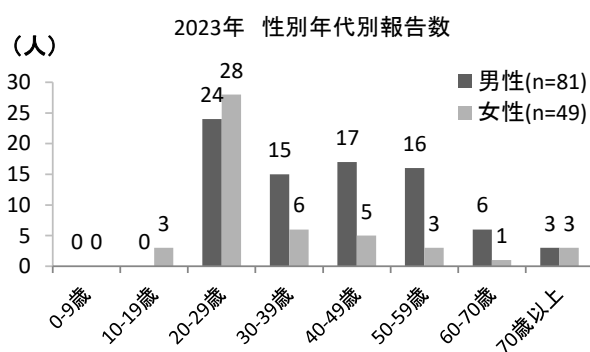
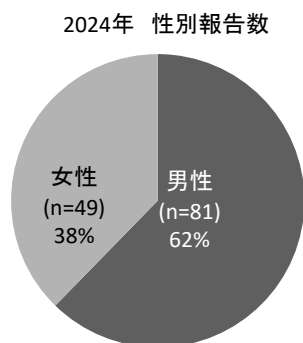
(4) 年代別報告数の推移

- ・例年、20代から50代が多く報告されています。
- ・2024年の報告数は、20代が最も多く52人、次いで40代が22人、30代が21人、50代が19人、60代が7人、70歳以上が6人、10代が3人でした。



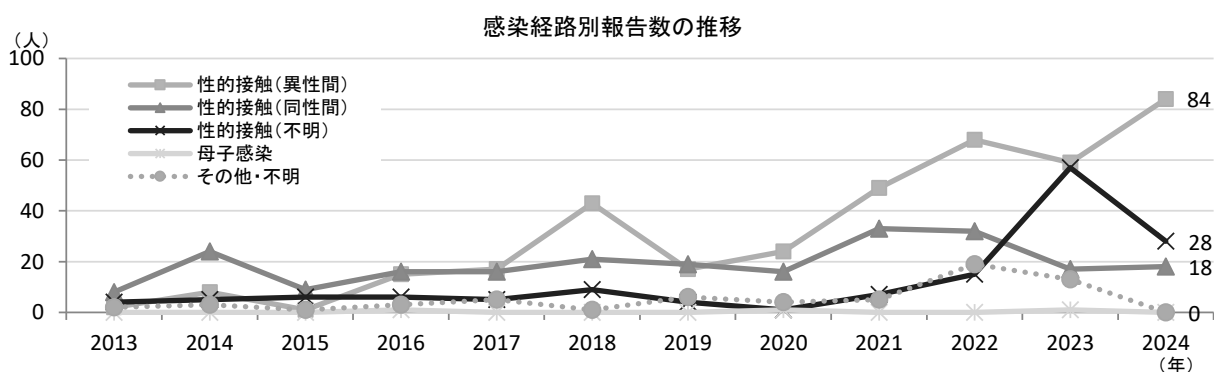
(5) 性別・年代別報告数

- ・男性が全体の62%を占めています。
- ・男性は20～50代、女性は20代での報告が多く見られます。



(6) 感染経路別報告数の推移

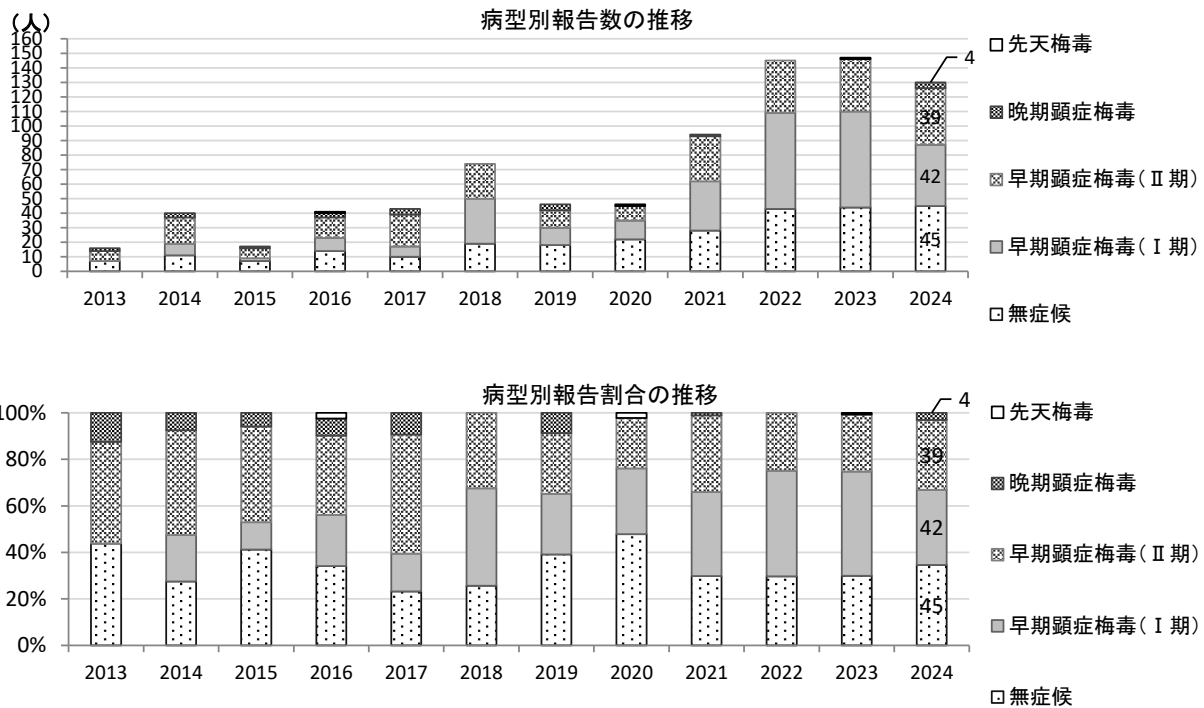
- ・2024年は、性的接触（異性間）が84人で最も多く、次いで性的接触（不明）が28人、性的接触（同性間）が18人となっています。



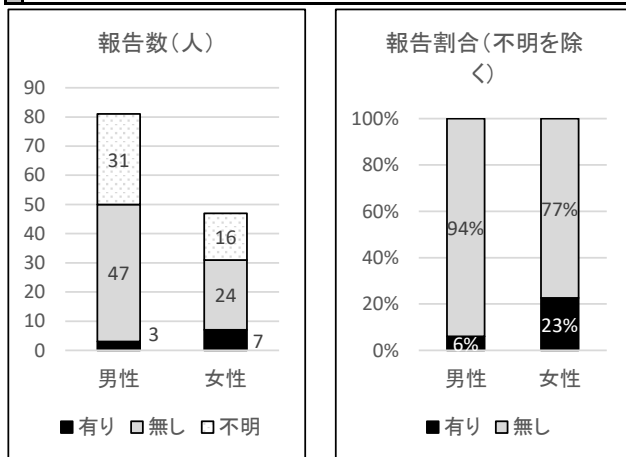
※両性間の性的接触は性的接触（同性間）に含める

(7) 症状別報告数・報告割合の推移

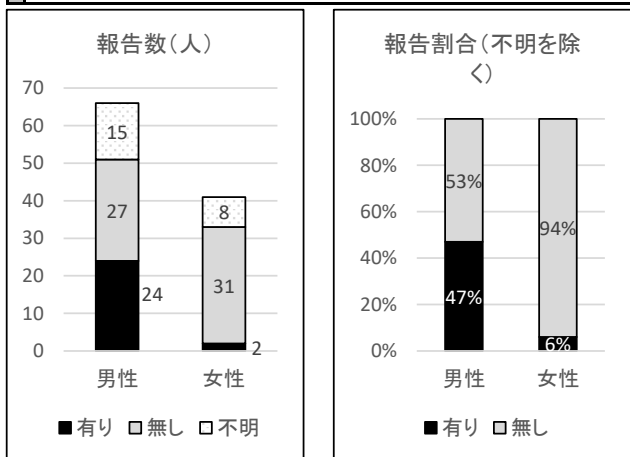
- ・2024年は、無症候が44人で最も多く、次いで早期顕症梅毒（Ⅰ期）が42人、早期顕症梅毒（Ⅱ期）が39人報告されています。
- ・2024年は先天梅毒の報告はありませんでした。



(8) 直近6か月以内の性風俗産業従事歴(2024年)

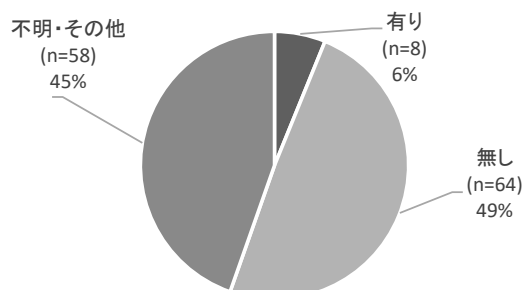


(9) 直近6か月以内の性風俗産業利用歴(2024年)



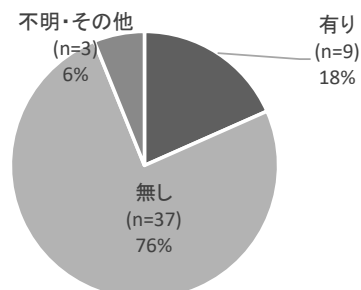
(10) HIV感染症との合併(2024年)

2024年の梅毒感染報告者130人のうち、HIV感染症



(11) 妊娠の有無(2024年)

2024年の女性の梅毒感染報告者49人のうち、妊娠についてありと報告されたのは9人(18%)です。

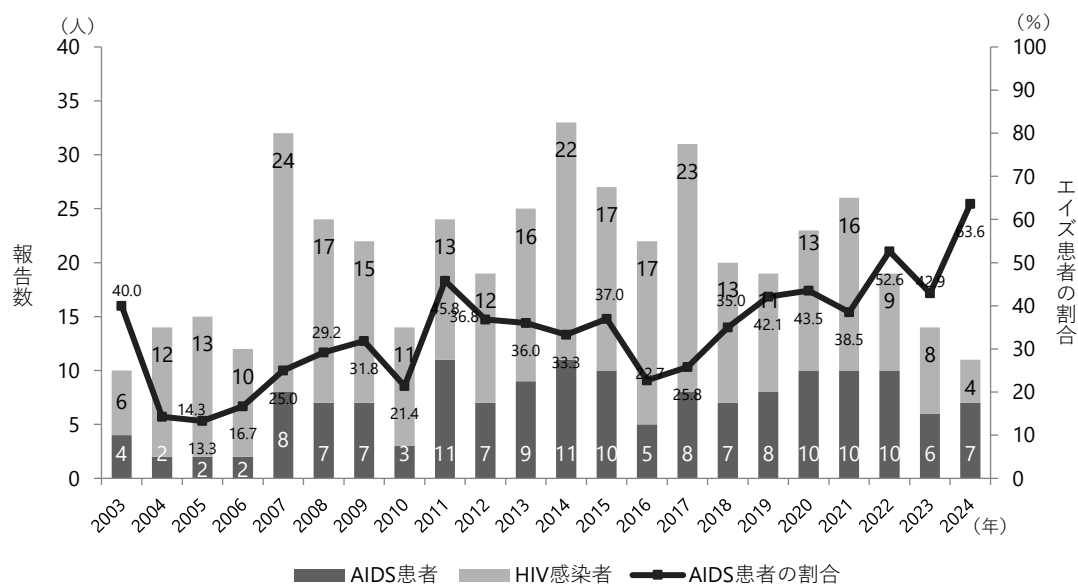


後天性免疫不全症候群（HIV感染者/AIDS患者）の発生動向

【沖縄県：2024年第1週～第52週（2024年1月1日～2024年12月29日）】

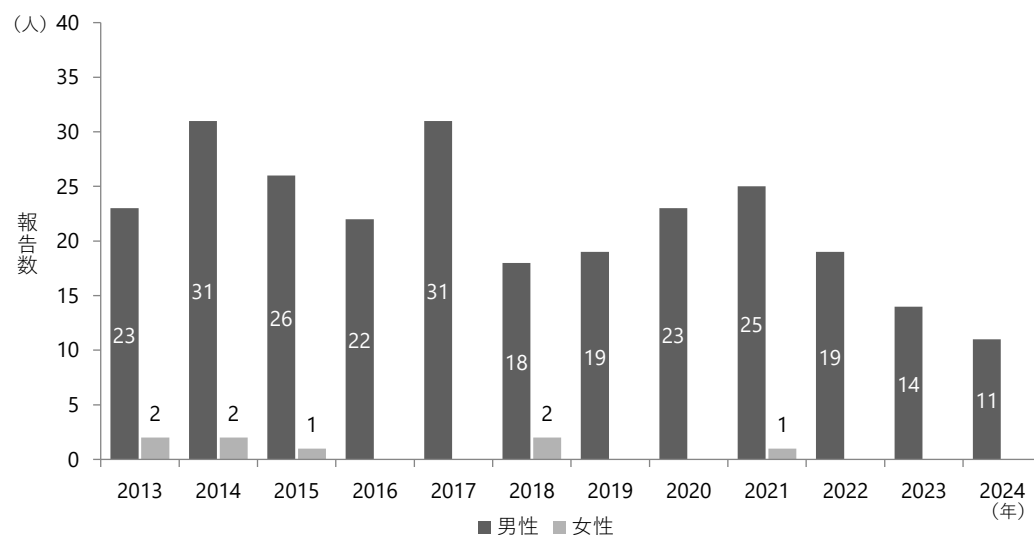
（１）年別報告数（2002年～2024年）

- ・2024年の報告数は11人で、2023年に比べ減少しました。
- ・2024年のAIDS患者は7人で、2023年に比べ増加しました。



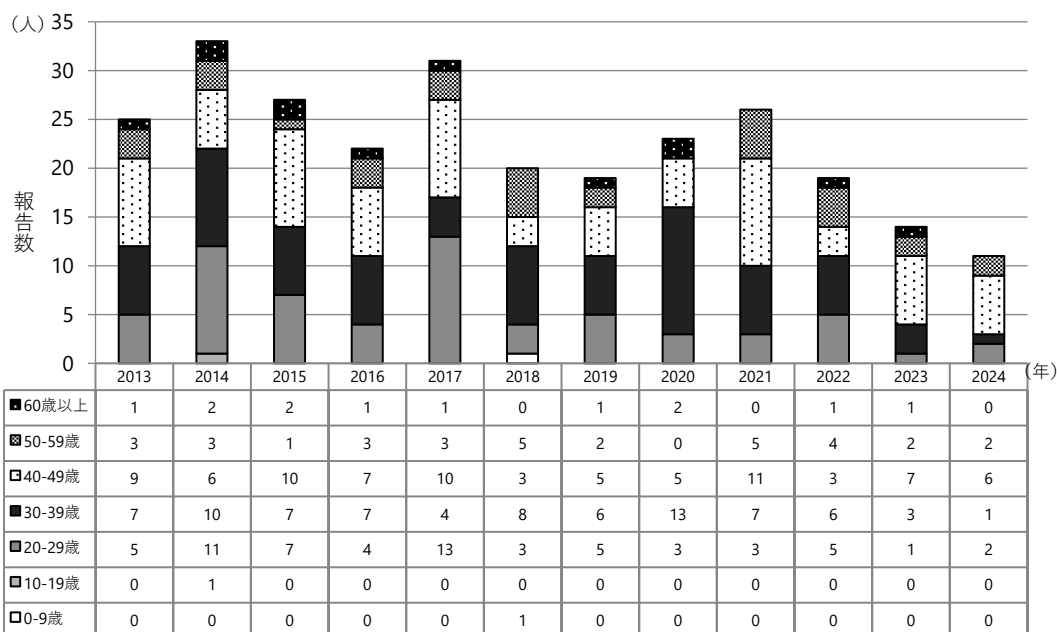
（２）男女別報告数（2012年～2024年）

- ・いずれの年も男性の報告が多くありました。
- ・2024年は男性が11人、女性が0人でした。



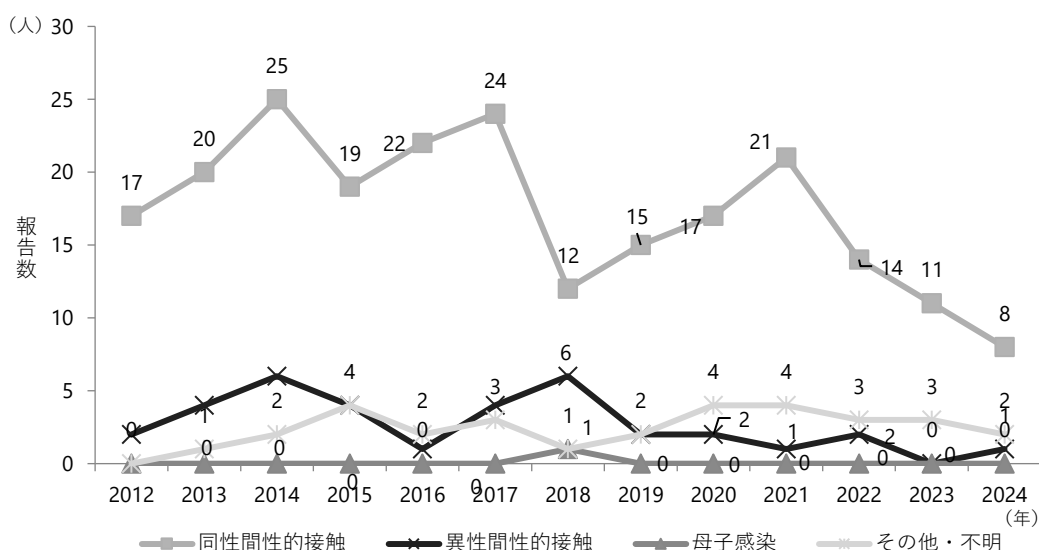
(3) 年齢階級別報告数 (2012年～2024年)

- ・ 20代から50代を中心とした年齢階級で報告がありました。
- ・ 2024年の報告数は20代が2人、30代が1人、40代が6人、50代が2人でした。



(4) 感染経路別報告数 (2012年～2024年)

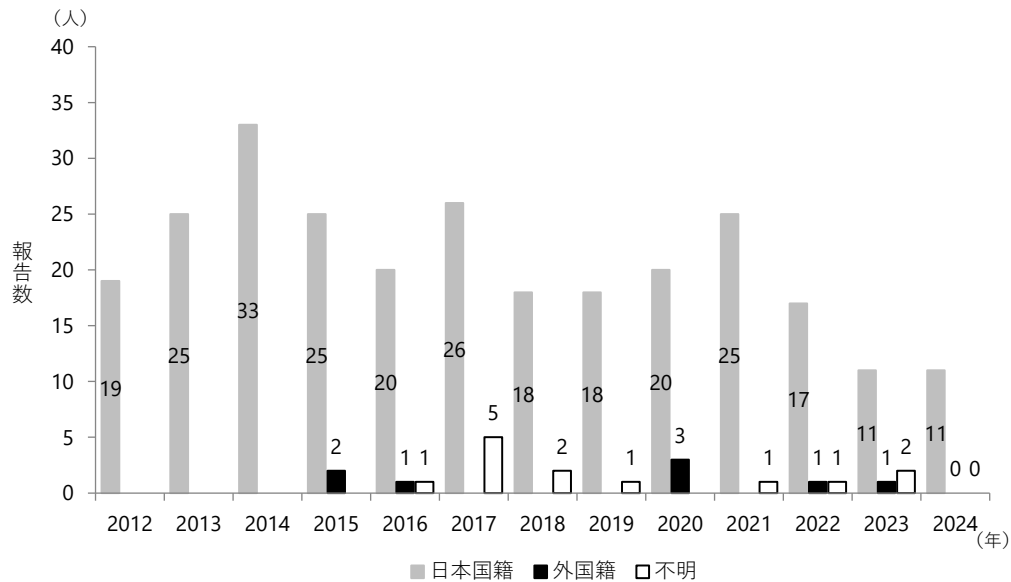
- ・ 2024年は同性間性的接触が8人（前年比73%）、異性間性的接触が1人（前年0）、母子感染が0人（前年と同数）、その他・不明が2人（前年比67%）でした。



※両性間性的接触は同性間性的接触に含める。

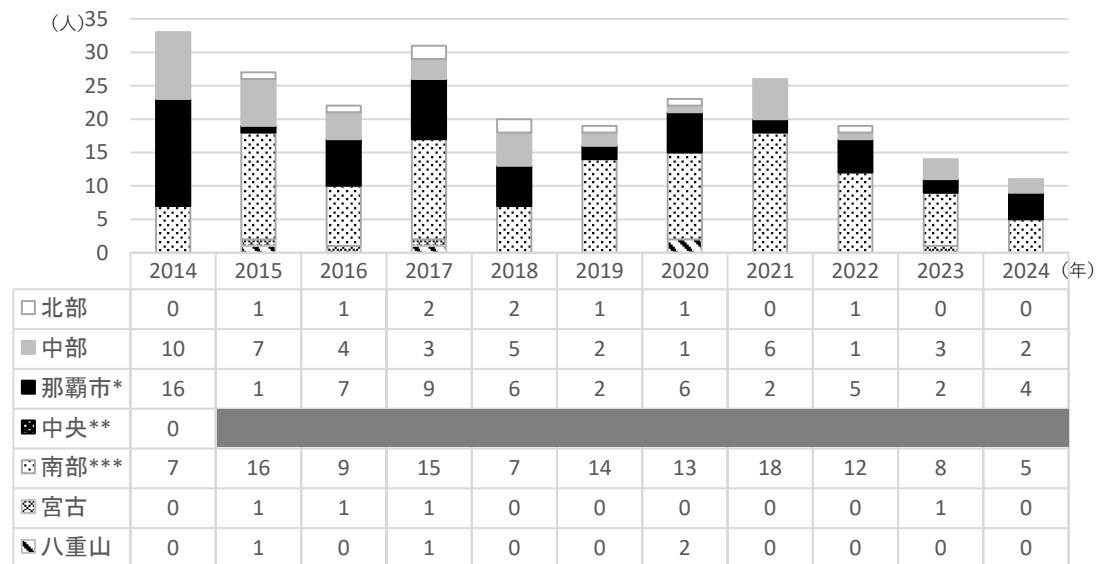
(5) 国籍別報告数（2012年～2024年）

- ・ いずれの年も日本国籍で多くの報告がありました。
- ・ 2015年は2人、2016年は1人、2020年は3人、2022年は1人、2023年は1名の外国籍の報告がありました。
- ・ 2024年は日本国籍が11人、外国籍が0人となっています。



(6) 年別保健所別報告数（2012年～2024年）

- ・ 2024年が多い順に南部保健所（5人）、中部保健所（4人）、那覇市保健所（2人）となっていました。



*那覇市保健所は2013年4月1日設置

**中央保健所は2013年4月1日廃止

***南部保健所は2013年4月1日より所管圏域拡大

2024年 沖縄県感染症発生動向調査事業報告書

発行年月	2026年3月
発行・編集	沖縄県保健医療介護部地域保健課 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 TEL (098) 866-2215 FAX (098) 866-2241
編集	沖縄県衛生環境研究所感染症研究センター 〒904-2241 沖縄県うるま市字兼箇段17番地1 TEL (098) 987-8221 FAX (098) 987-8210
印刷	
